

大豆特報

黒 部 市
黒 部 市 農 業 技 術 会 議

梅雨期間の降水に備え、適期の培土作業や除草作業とあわせ、排水対策を徹底し、大豆の収量及び品質向上に努めましょう。

1 雑草防除 ～草種にあわせて、適期に除草剤を散布する～ 【イネ科雑草】

除草剤名	使用方法（10aあたり）	使用回数	使用方法	使用時期
ポルトフロアブル	・薬剤 200～300ml 希釈水量 50～100ℓ	1回	雑草茎葉散布 又は全面散布	イネ科雑草3～10葉期 (スズメカサネを除く) 但し、収穫30日前まで
ナブ乳剤	・薬剤 200 ml 希釈水量 50～100ℓ	1回	全面散布	イネ科雑草6～8葉期 (スズメカサネを除く) 但し、収穫30日前まで

- ・イネ科雑草のみを選択的に枯死させます。
- ・茎葉処理剤なので、イネ科雑草が生え揃った初期の段階に遅れず散布しましょう。

【広葉雑草】

除草剤名	使用方法（10aあたり）	使用回数	使用方法	使用時期
大豆バサグラン液剤	・薬剤 100～150ml 希釈水量 100ℓ	1回	雑草茎葉散布 又は全面散布	大豆2葉期～開花前 (雑草の生育初期～6葉期) 但し、収穫45日前まで

- ・散布時期の目安は、大豆のは種後20～25日頃（大豆の本葉2～3葉期）です。
- ・イネ科雑草には、効果はありません。

【非選択性除草剤】

除草剤名	使用方法（10aあたり）	使用回数	使用方法	使用時期
ロックス水和剤	・薬剤 100～200g 希釈水量 70～150ℓ	1回	畦間処理 株間処理	本葉3葉期以降 但し、収穫30日前まで
バスタ液剤	・薬剤 300～500ml 希釈水量 100～150ℓ	3回 以内	畦間処理 株間処理	株間処理は本葉5葉期以降 但し、収穫28日前まで

- ・畦間処理、株間処理は、つり下げノズルを使用し、大豆の本葉にはかからないよう注意しましょう。

2 培土（畦立播種の場合）

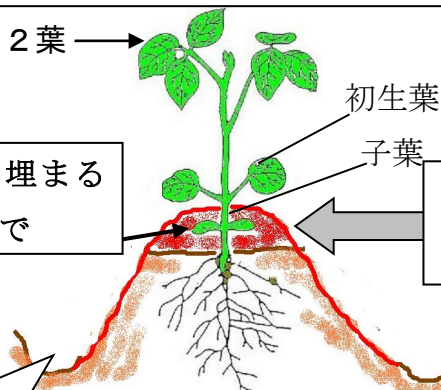
～排水の促進、根域の拡大、雑草の抑制、倒伏防止に効果～

【作業のポイント】

- ① 培土作業は適期を逃さずに行いましょう。
- ② ほ場が乾いている時に作業をしましょう。
- ③ 株元までしっかり土を寄せましょう。

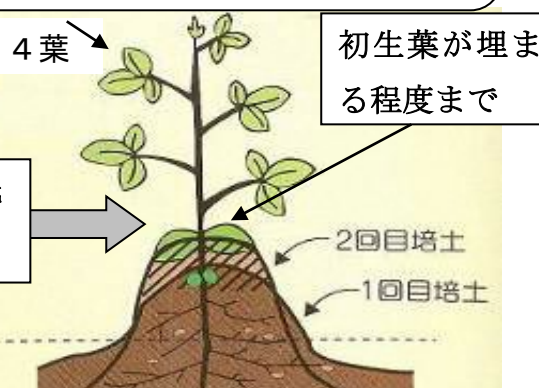
1回目培土

時期：本葉2～3葉期の頃
目安：は種後20～25日頃



2回目培土

時期：本葉4～5葉期の頃
目安：は種後30～35日頃



しっかりと株元まで土をかける

湿害を受けやすいので、培土が遅れると黄化しやすく、生育量不足になりやすい

こんな培土はダメ！

× 培土もどき

- × 株元に土がかかっていない
- × 水がたまり、湿害を受けやすい

生育促進・収量増加のため、培土は遅れず実施しましょう。

3 排水対策 ～根域の拡大のため、必ず行う～

- 培土後にできた溝は、速やかに額縁排水溝や深く掘り下げた排水口と連結し、溝に水がたまらないようにしましょう。
- 降雨後に、溝の連結や排水溝の崩れた部分の手直しを行い、雨水が停滞しないように点検・補修しましょう。